

一橋大学哲学・社会思想学会第11回総会議案書

2017年6月3日

(1) 2016年度の活動報告(前回総会以降) *敬称略

① 研究大会の開催

第19回大会(通算49回) 2016年6月4日(土)、研究会議室 参加者 89名

【個人研究発表】(午前)

10:40—12:10 徳地 真弥「ティートゥス・シュタールの内在的な規範を
ともなった社会实践の構想」 司会 久保 哲司

【総会】

13:20—13:50 議案了承 議長 大河内 泰樹

【個人研究発表】(午後)

14:00—15:00 上田 尚徳「ヘーゲル『精神現象学』における物への問い」
司会 岩佐 茂

【講演会】

15:10—18:10 シンポジウム 「哲学研究の比較—方法・評価・教育の観点から」
秋葉 剛史(千葉大学)
馬場 智一(長野県短期大学)
千葉 雅也(立命館大学)

司会 井頭 昌彦

【懇親会】はたごや 会費実費

第20回大会(通算50回) 2016年11月26日(土)、研究会議室 参加者 17名

【個人研究発表】

10:30—12:00 王 燕敏「ホネット承認論に対する批判と応答」
司会 加藤 泰史

13:10—14:10 府川 純一郎「アドルノの自然美学の(ウン)アクチュアリテート」
司会 久保 哲司

14:10—15:10 岩田 健佑「初期ヘーゲル哲学における啓蒙思想の形成」
司会 森村 敏己

15:30—16:30 真田 美沙「ヘーゲル哲学における導入と端緒について」
司会 干場 薫

16:30—17:30 太田 浩之「アダム・スミス『道徳感情論』における自然神学」
司会 森村 敏己

【懇親会】はたごや 会費実費

② 学会発表者の募集（年2回）

- 1、2016年5月11日に2016年冬大会の募集（6月10日～7月10日）。
- 2、2016年11月11日に2017年夏大会の募集（1月10日～1月31日）。
2017年夏大会の応募者数が少なかったため、締め切りを2月8日まで延期した。
上記いずれも応募者はすべて採択された。

③ 「一哲学会報」の発行

【第23号】（2016年9月23日発行）

シンポジウムのまとめ（秋葉、馬場、千葉）／個人研究発表のまとめ1本（上田）／
総会報告／大学院各ゼミ生の研究テーマ

【第24号】（2016年11月15日発行）

第20回冬大会開催案内／個人研究発表の要旨5本／個人研究発表の募集

【第25号】（2017年5月〇日発行）

第21回夏大会開催案内・第11回総会案内／個人研究発表の要旨2本／前回個人研究発表のまとめ5本／シンポジウム要旨／総会議案書／第22回冬大会の個人研究発表の募集。

④ 総会・幹事会

第10回総会	2016年6月4日（土）	議長 大河内 泰樹
第1回幹事会	2016年7月20日（水）	社会思想共同研究室
第2回幹事会	2017年2月24日（金）	社会思想共同研究室

⑤ 渉外関係

特になし。

⑥ 学会ホームページ

セミナーと会報のページを設けた。事務局（助手）が管理。

*会計報告

旧哲学・社会思想研究会から引き継いだ現金（昨年残額2872円）の中から、6月に飲料代591円、11月に飲料代998円支出し、カンパ140円あり、残額1423円。なお、本学会は学会費を徴収しない。

（2）2017年度の活動計画

① 研究大会の開催

- 第21回大会（2017年6月3日）
- 第22回大会（2017年12月2日予定）

(第23回大会の準備 2018年6月第1土曜予定)

- ② 個人研究発表の募集の告知・・・年2回(11月、5月)、会報に掲載。
- ③ 「一哲学会報」の発行(年3回を予定)8月発行、11月発行、2018年5月発行
- ④ 会員名簿の整理・管理。
- ⑤ 次期総会の準備(2018年6月)、及び、次年度の事業の準備。
- ⑥ ホームページの管理。
- ⑦ 大会アンケートの実施(企画案等の募集)

(3) 学会幹事の提案

2017年度の幹事として以下の者を提案する。なお、院生幹事の交代、退任等は幹事会で承認する。*氏名の敬称略。

教員幹事 森村 敏己、大河内 泰樹

院生幹事 府川 純一郎、上田 尚徳、小倉 翔、高橋 駿仁、秋葉 峻介

助手幹事 干場 薫

学外幹事 明石 英人(駒澤大学)

*本学会の教員幹事は、旧研究会から引き継いだ輪番表(2003年3月5日決定)に基づき、負担が公平になるように、交替制で担当することになっている。ただし、輪番表に含める教員については、必要に応じて見直しをする。

	加藤	森村	大河内	平子	井頭	学外
2013年			◎	○	○	小谷英生
2014年	○			◎	○	小谷英生
2015年	○	○			◎	

	加藤	森村	大河内	—	井頭	学外
2016年	◎	○	○			明石英人

	加藤	森村	大河内	井頭	学外
2017年		○	○		明石英人
2018年			○	○	

◎は、代表幹事を表す。代表幹事1名は、2013年度から導入。

2017年度から、教員幹事を2名(学内)とする。